



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「次代へ～次の世代につなぐ」

国際会長主題	「フェロシップとイパ外で次の100年へ」	Samuel Chacko (India)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エガントに変化を」	Shen Chi Ming (Taiwan)
西日本区理事主題	「原点を知り将来に生かす」	田上 正 (熊本むさし)
中部部長主題	「明るく 清く 美しく～よき隣人として (befriending)～」	山内 ミハル (金沢)
名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』		

今月の聖句

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

(エレミア書 29章11節)

強調月間 Alexander Scholarship Fund・YMCAサービス

11月例会等ご案内

◎11月第1例会

日程：2022年11月10日(木) 18:45～
 担当：神谷正博君
 会場：ラ・スースANN
 開会宣言・点鐘：橋爪良和会長
 ワイズソング
 5つの信条：山村喜久君
 食前感謝：八木武志君
 一食一
 卓話：『学校給食について』
 ～学校給食に今昔と衛生管理の課題～
 講師：福嶋敏勝氏
 (株) トーエネック 営業部課長
 諸連絡
 閉会宣言・点鐘：橋爪良和会長

◎11月第2例会

日程：2022年11月17日(木) 19:00～
 会場：名古屋YMCA

◎第29回チャリティーラン2022

日時：2022年11月5日 9:30～
 会場：名城公園

◎クリスマス祝会

日時：2022年12月11日 夕刻～
 会場：ラ・スースANN

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 10月末一在籍者18名
 (内広義会員2名)
 出席者 15名 (Make up0名)
 出席率 93.8%

【特別ファンド】

10月のニコボックス 13,006円
 現在保有額 1,581,580円

10月第1例会報告

『わたしと世界のつながり』

～エチオピアの森、パラオの海～

今回の講師は講師グリーンジャーニー代表でラジオのMCやDJもしておられる空木マイカ（うつきまいか）氏。

大学時代にイギリスに留学し、その時にラジオのDJになることを決心し、卒業後その道へ。27歳の時DJとしてJICAのオフィシャルサポーターになりウガンダを取材する経験をして以来様々の国際協力の様子を「伝える」仕事の大切さを知り虜になった。本日はその中からエチオピアの森とパラオの海のお話。

エチオピアは人口増加に伴う畑地拡大の為、森林の木を伐り続け、国土の3%しか自然林が無い。切り開いた畑は、雨で表土が流されると畑は瘠せて作物が育たなくなり、また木を伐り次の畑を作らないといけなくなる。この対策を依頼されたJICAでは ①（土地を守る）農業知識を身に付けてもらう体験学習を主体にした学校を作った。②（森を守り育てる）森の中に自生するコーヒー豆を手摘みし、プレミアム価格で売り出すことを進めた。これにより住民は豊になり今は事業として成立している。『コーヒープランテーションは森をなくす』



パラオでは入国者に環境保護意識を持ってもらうために「環境保護誓約」をしないと入国できない。また日焼け止めクリームも天然成分しか使えないとか、紙ストローしかないとか、分解可能な

プラ袋しか使えないとか様々に環境保護のための取り組みが進んでいる。これは人口2万人の国では焼却施設を作ってもランニングコストがかかり過ぎ採算が合わないから。ゴミは分別し堆積場で空気煙突を利用し、自然に処理している。産業の無いパラオでは自分たちが生み出していないビンやプラスチックなど外から持ち込まれるもの（海洋ゴミも含む）で被害にあっている。またパラオでは気候変動による海水位の上昇は深刻で満潮時には海水が家の間近まで来るため、海外への移住を考える人もいる。



今私たちの周りにも環境に良い物が色々出ているが、あまり知られていない。良い物があってもまぎれてしまうと買われない。ただ高くてもその商品の価値が環境に良いと解れば購入されることが解ってきている。このように現実を正しく「伝え」理解を深めてもらうと、日常生活の中で国際協力は誰にでもできることを実感している。

このお話を聴き、Green Journeyのホームページにあった“30年後の未来へのヒントを求めて「今私たちができること」”の意味が良くわかりました。

また、今回は過日講師で起こし頂いた、山本直子さんが入会を前提にご参加、山村君の所の中野志野さんもゲストで出席でした。（松本 勝）

【出席者】浅野、太田、神谷、柴田、鈴木、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、真鍋、八木、山田、山村、鷲尾

（ゲスト）山本直子さん、中野志野さん

10月第2例会報告

1. チャリティーラン支援について

「ユーススポーツ」と「鶴里サポート体育」の参加費を提供することとなり、谷口担当主事に支援金を受け取ってもらった。またリーダー会の代表が例会に顔を出し、リーダー会の参加費支援のアピールがあり、それぞれ募金をした。

2. 大阪泉北クラブ40周年記念例会、京都ブラックワイズチャーターナイト、東西日本区交流会などの報告があった。

3. 11月第一例会について

担当：神谷正博君

卓話テーマ：『学校給食について』

～学校給食に今昔と衛生管理の課題～

講師：福嶋敏勝氏

(株)トーエネック営業部課長

4. クリスマス祝会について

日時：12月11日(日) 夕刻(時間検討中)

場所：ラ・スースANN2階レストラン

会費：大人6,000円、小学生3,000円
不足した場合はクラブ会計より負担することとした。

担当の中江君に加え、橋爪君、山村君、谷口君の3名を担当に追加した。

5. DBC交流会について

奈良クラブ、御殿場クラブとやり取りをしている。ホストクラブの事情も考慮し、浅野君からの提案を両クラブに打診してみることにした。

6. 西日本区大会準備活動のための準備金の件

実行委員会から中部各クラブに2024年6月には返戻の予定で、メンバー1人当たり1万円換算で支援金を借りたいとの要請があった件について了解した。

7. 次期クラブの役割分担について

松本君より次期中部部長を引き受けるにあたり部会実行委員、中部役員、区大会実行委員、クラブ内役員と様々な役割を分担する必要があるため、メンバー各位への協力願いがあった。

【出席者】浅野、柴田、谷口、中江、橋爪、
長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

振り返り。お互い様。やりたいこと

太田全哉

秋風が心地よい季節になりました。最近、金沢での中部部会・仕事での北海道ゴルフ旅行と気温が低い場所に訪れています。コロナ禍で旅行もなかなか行けず、良い気分転換となりました。

先日の例会での空木さんのエチオピア・パラオの話、木村さんのフランスの話をお聞きし、海外旅行に久しぶりに行きたくなりました。

以前、コロナが発見された2019年12月の前、2019年9月に訪問したベトナムのホーチミン(首都はハノイ)の様子と、私の友人が体験したことを紹介します。

ホーチミンは今の日本の秋の気候とは違い、35-25℃あり、名古屋より暑かったです。何度もスクールに襲われました。



旅行では、戦争証跡博物館で悲しい思いをしたり、フランス領の影響を受けたコロニアル建築やフランスパンに包まれたバインミー(サンドウィッチみたいな食べ物)その他、ベトナム料理を食べ歩き、市場での買い物の値段交渉と楽しい事ばかりでした。

物によりませんが物価も、円安とはいえ、まだまだ低いです。(ビール350mL=60円、フォーなどの屋台料理は100円から300円、マクドナルドやスタバは日本と同じ)

なにより印象に残っているのが、若者のパワーです。25~29歳の人口比率が高く、朝晩関係なく 아이폰片手に元気に明るく過ごし、熱気に包まれています。これを目の当たりにすると、日本

の若者と比較してしまいます。

バイク社会ということで信号・横断歩道関係なく走行していますので、道を渡る際は【走らず、堂々と左右確認して、運転手とアイコンタクトして渡る】。クラクションは存在確認として鳴っています。うるさいです笑

現在、地下鉄工事を ODA で、2100 億円かけて、施工は清水・前田建設工業 JV、車両は日立と総がかりなプロジェクトで 2018 年完成予定？で進んでいます。(現在一部完成)

これだけ、バイク社会が確立しており、乗車賃もそこそこするので、国民の皆さんが利用するか疑問です…

そんな国に 1 カ月遅れで、単身一人で友人が観光した時の話を紹介します。



私と同じく、観光・食事と楽しんでいたみたいですが、単身でしたので、安宿・屋台飯とコスパ発揮の旅行で悲劇が起きたみたいでした。移動中の公営バスの中で財布を落とし、遠方の観光地で気づきました。困り果てていると、『日本人どうした？』と日本語が話せる紳士が声をかけてきたそうです。

事情を説明中、屋台屋さん・タクシーやバイクタクシーの運転手が野次馬のように集まってきた。『日本人なら助けてあげるよ』とタクシー運転手。一文無しなのに、公営のバス停留所に乗せて行ってもらったみたいです。

道中、『財布が見つかったら、運賃をもらおうが、財布がなかったら、運賃はいらない。かわいそうだから』。

停留所の管理部に到着し、事情説明し、まだ運行中のバス運転手の携帯電話に連絡してもらったところ(おいおい運転中では？笑)運転手『席の下にあったよ。まだ運行中だけど引き返す』と返事。？？？(ダイヤは大丈夫か？笑)

財布は戻り、無一文乗車させてくれたタクシー運転手にはチップを乗せた運賃を払い、引き返してくれた運転手にもチップを渡したみたいです。本当にダイヤは大丈夫か？

めちゃくちゃな話だが、感動しました。困っている人をみんなで助ける。若者のパワー・ボランティア顔負けのお互い様の国民性。

日本も入国制限の緩和を始めました。徐々にですが以前の日常が戻って来ています。

これからのワイズにも通じる話を紹介したつもりです。早く海外旅行したいなあ 完

【今後の例会担当】 宜しくお願いします

11月：神谷

12月(クリスマス例会)：中江、橋爪、山村、谷口

1月：山田 2月：鷲尾 3月：長谷川

4月：柴田 5月：太田 6月：真鍋

【今後のブリテン寄稿】 待っています

11月：神谷

12月：木村 1月：柴田 2月：谷口

3月：中江 4月：長谷川 5月：真鍋

6月：山村

